

令和7年度 社会福祉法人さくらんぼの里 経営計画

1. 運営方針

- (1) 利用者一人ひとりの実態に即した積極的な支援に努める。
- (2) 職務遂行に適切な職員を採用し、職員を適材適所に配属して、職務の効率化を図る。
- (3) 安全で清潔な生活しやすい環境整備に努める。
- (4) 安定した運営ができるよう財政基盤を強化する。
- (5) グループホームの事業拡大計画を立案する。

2. 重点目標

(1) 利用者支援

- ① 利用者の特性をふまえて、適切なサービスを提供する。
- ② 機能の低下を防ぎ、持っている能力の維持・向上を図り、自立した日常生活と社会生活ができるようにする。
- ③ 下請け加工作業、自主製品の生産や仕入れ商品の販売などを安定的に行い、工賃向上につなげる。
- ④ 常時リスク管理に努め、利用者が安心安全に過ごせる生活環境作りに努める。
- ⑤ 利用者の不利益になる虐待などの防止に努める。

(2) 職員の職務及び処遇

- ① リーダー層、中堅層、若手層が相互に信頼しあい高めあう組織にする。
- ② 職員間相互の報連相(報告・連絡・相談)に努め、より一層の職員連携を強化する。
- ③ 次世代を担う人材育成に努める。
- ④ 支援のあり方の向上に努め、自己研鑽に励む。
- ⑤ 職員採用に際しては、試用期間などにおける職務遂行に十分留意する。

(3) 施設設備等の環境整備

- ① 施設内外の環境改善に努める。
- ② 業務に必要な書類の保管整理に努める。
- ③ 利用者にとって機能的に活用できる環境を整備する。
- ④ 利用者が安心して過ごせる個別対応の場を確保する。

(4) 財政基盤強化

- ① 常時適正で透明性のある財務管理に努め、見通しのある財務状況を維持する。
- ② 余裕資金が確保できるように努める。
- ③ 助成制度等を積極的に活用する。
- ④ のぞみの家・グループホームの利用者確保に努める。

- ⑤ 利用者の工賃向上・送迎利用などの計画・実績を常時明確にして安定した運営に努める。

(5) 事業拡大計画

グループホーム 3 棟目建設計画の概要を作成する。

3. 到達目標

(1) 利用者支援

- ① 利用者の平均工賃が年間 15 万円に達するようにする。
- ② 収益性のある作業内容を積極的に導入する。
- ③ 本人や保護者の意見を取り入れた個別支援計画に基づき、PDCA(Plan→Do→Check→Action)サイクルを踏まえて適切な支援にあたる。
- ④ ケース会議(毎月開催、利用者一人当たり年間 2 回以上実施)などにより、利用者一人ひとりの実情について共通理解を図り、支援の適正化に努める。

(2) 職員の職務及び処遇

- ① 業務上基本的な知識と技能を必要とする資格取得や研修受講に努める。
- ② 利用者一人ひとりに合った作業効率の正確性や効率性向上のための援助や治具などの方法を工夫する。
- ③ 利用者にとって、安定的に作業内容や量を確保できるように、取り引き先や販売網の開拓や交渉に努める。
- ④ 職員の待遇改善に努め、勤務時間内で職務遂行できるよう、職務内容や役割分担を明確化・焦点化して、効率的で効果的な職務を行う。

(3) 施設設備等の環境整備

- ① 事務室内の各職員の机上スペースを広く確保して、事務処理の効率化に努める。
- ② 事務室内の書類保存を明確にし、デジタル保存管理などに努める。

(4) 財政基盤強化

- ① 年間余裕資金が、2%程度確保できるようにする。
- ② 国や市及び私的な助成資金の情報収集に努め、その確保に努める。
- ③ GH の運営が円滑に実施できるよう明確な資金計画を立案する。

(5) 事業拡大計画

- ① グループホーム 3 棟目建設に関する資金確保計画を策定する。

4. 事業別運営内容

◎ 生活の質の向上

- ・ 過ごしやすい生活の提供のために、人的・物理的な環境の整備を行う。
- ・ 年齢や特性に応じた支援の環境を整えるため、事業間の相互利用を行う。

◎ 意思決定支援

- ・ 意見を発信できる利用者は限定されるが、一人ひとりの理解できる提案方法に工夫を凝らし自己選択・決定の支援を行う。
- ・ 経験や知識を広めていく行事活動などを利用者意向を主体に進めていく。

◎ 権利擁護

- ・ 権利擁護・虐待防止等の担当職員の配置及び職員研修の実施及び研修参加の復命にて全員周知の徹底を図り権利擁護を遵守する。
- ・ 虐待及び身体拘束防止のため委員会を主に、年1回以上職員研修を行い職員全体が共通理解のもと支援にあたる。

◎ 支援力向上

- ・ 全職員がてんかん、自閉症スペクトラム障害、強度行動障害の基礎研修を受講。
- ・ 経験や職務に応じた研修・資格の習得。外部・施設内研修の充実。
- ・ 講師を招聘し症例研究を継続し、支援の共有化及び質の向上を図る。
- ・ 業務改善委員会を立ち上げ、職場内環境を職員全体で意見を出し改善していく。

(1) 生活介護事業

定員10名	令和6年度	令和7年度
利用者数	10名	10.5名
出席率	(2024.1月~2024.12月) 85.49%	86.5%
	(定員数対比) 85.49%	89.4%

- ① 継続的な体験を積み重ね、場面への適応力を高める支援を行う。
 - ・ 公共施設利用（温泉・外食）を通してルールやマナー、社会適応力を高める。
- ② 個々の体調、精神面に考慮し安全を第一に、落ち着きある生活の場の提供。
- ③ 特性に応じて、コミュニケーションを大切にし、豊かで安定した生活につなげるための環境整備に努める。
 - ・ 健康管理…看護職員による血圧測定の継続。個別対応での運動量の増加を図る。
- ④ 日々の生産活動・創作活動及び娯楽活動をとおして、経験の幅を広げることができた。次のステップ、丁寧に作業を進め、正確性を高める。
 - ・ 個々に合った作業内容や工程・時間の設定及び量の提供。

(2) 就労継続支援B型事業

定員30名	令和6年度	令和7年度
利用者数	32名（長期入院・怪我による欠席）	32.5名
出席率	(2024.1月~2024.12月) 95.00%	96.3%
	(定員数対比) 103.94%	110.9%

① 就労活動

「活動内容」「自主製品の紹介」「バザーの告知」などを、新たなPR方法で発信し、利用者の作業意欲や工賃UPへ繋がるよう努める。

加齢及び刺激や影響を受けやすい特性の利用者には、相性などを考慮しながら、作業能力や持続力を保持するためにも、物理的・人的な環境を整えて支援にあたる。

- ・自主製品…バザー、贈答品の販売継続、製品ラインナップ充実

 こんにやく 新商品開発に伴い、利用者活躍の場を増やしていく
 市の優先調達方針参入〔市立保育園への配達〕

 しそ巻き 利用者の可能性を伸ばす作業配分

- ・販売…販売戦略「贈答品」の認知度を広げるPR

 顧客ニーズに合わせた仕入れにより、売り上げの向上を図る

- ・下請作業…一人ひとりの強みを伸ばし、効率と持続力を養っていく

 利用者の相性などに配慮し、環境を整備する

② 施設外支援…外部での経験を通して社会的マナーと個人の課題達成に向けてステップアップを図る

③ 施設外就労…生産、作業効率の向上及び社会適応力の育成

④ 社会参加…資源回収 毎月1回実施。家庭及び事業所の資源回収をとおして、社会参加と山形市ごみ減量推進へ貢献

 …子ども食堂へ食材（こんにやく）の提供

（3）共同生活援助事業

グループホーム「すまいる」 山形市小白川町五丁目 平成29年12月開所(2017年)

グループホーム「ピーす」 山形市鉄砲町二丁目 令和4年5月開所（2022年）

	定員	利用者数	毎週帰省	月1,2回	帰省無し
すまいる	6名	5名	3名	1名	1名
ピーす	7名	7名	4名	2名	1名

帰省※ 状況

定員13名	令和6年度	令和7年度
利用者数	11名（11月～12月）	13名
利用率	（2024.1月～2024.12月）66.62%	66.2%
	（定員数対比）64.66%	69.7%

① スタッフと情報を共有しながら、安心してくつろげる居場所を提供する

② GHの一員として誕生会や季節の行事を皆で企画し、実現に向けて調整・支援する

③ 地域の中で安全・安心に生活出来る様に、サポートに努め地域とのつながりを保つ

④ 帰省の計画は、本人の希望と安定を考慮して家庭と調整する

⑤ 休日や長期休みの過ごし方支援として、本人の希望による計画又は移動支援の活用などを取り入れ、充実した生活を提供する

5. 中長期事業計画

項目 年度	(1)利用者支援	(2)職員の業務 「収益性ある 自主製品研 究」	(2)職員の資質 「福祉関係資格 取得及び更新」	(3)施設設備等の 環境整備「施設 修繕・改修」	(4)財政基盤強化	(5)事業拡大
7 年 度	◎ 2 棟 の GH 運 営 4 年 目 運 営 安 定 化 ◎ 女 子 棟 「す ま い る」 空 き 居 室 1 室 入 居 者 募 る ◎ 工 賃 15 万 円 / 年	◎ 新 自 主 製 品 の 立 上 げ	◎ 講 師 招 聘 症 例 研 究 を 実 施 4 年 目 (症 例 ま と め ③) ◎ 新 資 格 取 得 者 1 名	◎ 施 設 設 備 等 の 改 修 資 金 の 確 保 に つ い て 検 討	◎ 年 間 2% 余 裕 資 金 確 保	◎ GH 3 棟 目 「 建 設 」 計 画
8 年 度	◎ 工 賃 16 万 円 / 年	◎ 新 自 主 製 品 の 定 着 1 年 目	◎ 講 師 招 聘 症 例 研 究 実 施 5 年 目 (症 例 ま と め ④) ◎ 新 資 格 取 得 者 1 名	◎ 施 設 設 備 等 の 改 修 開 始	◎ 年 間 2% 余 裕 資 金 確 保	◎ GH 3 棟 目 「 建 設 」 開 始
9 年 度 (4 0 周 年)	◎ 工 賃 17 万 円 / 年	◎ 新 自 主 製 品 の 定 着 2 年 目	◎ 講 師 招 聘 症 例 研 究 を 実 施 6 年 目 (症 例 研 究 冊 子 発 表)	◎ 施 設 設 備 等 の 改 修 2 年 目	◎ 年 間 2% 余 裕 資 金 確 保	◎ GH 3 棟 目 事 業 開 始
10 年 度	◎ 工 賃 18 万 円 / 年	◎ 新 自 主 製 品 の 定 着 3 年 目	◎ 新 資 格 取 得 者 1 名	◎ 施 設 設 備 等 の 改 修 3 年 目	◎ 年 間 2% 余 裕 資 金 確 保	◎ GH 3 棟 目 事 業 2 年 目
11 年 度	◎ 工 賃 19 万 円 / 年	◎ 新 自 主 製 品 の 定 着 4 年 目	◎ 新 資 格 取 得 者 1 名	◎ 施 設 設 備 等 の 改 修 4 年 目	◎ 年 間 2% 余 裕 資 金 確 保	◎ GH 3 棟 目 事 業 3 年 目